

教育センター事業について

1 教育センター事業の進捗状況

(1) 教師力強化事業

ア 若手講師、2年目教諭指導

(ア)若手講師 26 人を対象に、学校訪問による指導を行う。 UP

＜具体的な実施方法＞

- ・授業参観とその授業をもとにした授業改善に向けた指導、学級運営上の指導、生徒指導上の助言などを行う。
- ・教育センター主席指導主事、指導主事、学習支援コーディネーター 3 人の 5 人体制で分担し、学校訪問による指導を実施している。
- ・これまでに延べ 97 回の指導を実施した。

＜成果＞

- ・昨年度アンケートでは、研修を受けた講師全員が「訪問による研修は授業改善に役立った」「学級経営に役立った」と回答している。
- ・講師の勤務する学校からも、すべての学校から「講師の授業改善に役立った」「この研修は学校にとって役立つものだった」との回答を得ている。

(指導を受けた講師の声) ～29 年度末アンケートより～

- ・授業をする際の教師と子どもとの関わりについての助言が参考になる。
- ・納得できる解決策が見つかることで先が見えて意欲向上につながる。
- ・どんな小さなことでも「良かった点」として褒めてもらったことが意欲につながっている。

(学校の管理職等の声) ～29 年度末アンケートより～

- ・学校現場の現状を理解した、学校を支える有効な支援である。事前の準備や当日の対応等、指導訪問における学校の負担はなく、指導を受ける若手講師も普段通りの自然体で授業を公開でき、日々の授業に直結する指導を受けることができる。
- ・指導内容が、授業を丸ごと肯定的に受け止め、よさを認め励ますことを中心に据えたものであり、若手講師のやる気を高めるものになっている。

(指導者の所感)

- ・どの講師も子どもたちのためによりよい授業をしようと、授業準備等に意欲的に取り組み、指導内容を受け止め、次の実践に生かそうとしている。
- ・子どもとの接し方や授業づくりに関する具体的な指導・助言を求めている。それに応じた具体的な指導方法を工夫していく。
- ・講師の取り組みを認め、励まし、伸ばす方向での継続的な指導をしていく。

- (イ) 教職経験 2 年目教諭対象で学校訪問による指導を行う。 **NEW**
- ・具体的な実施方法は(ア)と同様。
 - ・対象となる教諭は 16 人であり、センター職員 5 人が分担して実施。
 - ・これまでに述べ 23 回の学校訪問による指導を実施した。
 - ・今後、アンケート等により本研修の成果と課題を明らかにしていく。

- (ウ) 本人または学校からの希望による訪問指導
- ・実施方法は(ア)(イ)と同様。
 - ・年度途中で任用された臨時的任用教員や非常勤講師等への訪問指導要請が中心である。

イ 授業力向上研修会 **UP**

- (ア) 日 時 平成 30 年 8 月 8 日 (水)
- (イ) 参加者 臨時的任用教員 30 人
- (ウ) 内 容
- ・大井川西小学校 鳥居教諭による講話
講話テーマ 「教育実践を見つける目」
～気づきと問いから学び続ける教師～
 - ・講話をもとにしたグループ討議
- (エ) 参加者の感想
- ・教師という仕事について理解が深まった。
 - ・授業における板書の大切さを改めて感じた。
 - ・これから、自分のレパートリーを増やしていきたい。
 - ・初任者と違い、ほとんどサポートがないまま実務をしなければならな
いため、このような研修会はありがたい。
 - ・グループ討議で、同じ立場だからこそ、日頃の思いを話すことができ、
また参考になる考えがたくさん聞いたことがよかった。

※11 月 26 日 (月) に第 2 回研修会を実施する予定である。

(2) 授業・学習支援事業

ア 授業支援関係

支援を希望する学校に対して、退職教員などによる授業中の児童・生徒のサポートを行う。

イ 学習支援 (ステップアップ教室) **UP**

放課後の教室を利用した退職教員等による学習支援を行い、基礎学力の向上を図る。

- ・対象校 焼津南小、大井川東小、港小、黒石小
 - ・対象児童 焼津南小・大井川東小：4・5・6 年生の希望者
港小・黒石小：3 年生の希望者
- 4 校で前後期合わせて、187 人の児童が参加している。

- ・実施回数 月2回（前期8回、後期8回）
大井川東小：月、焼津南小：水、港小：木、黒石小：金
- ・実施時間 放課後1時間程度
- ・対象教科 算数（各校とも前後期にそれぞれ1回理科講座を実施）
- ・9月までに各校とも計6回ステップアップ教室を実施した。

<実施内容等について>

- ・実施に当たっては、3・4人のグループに一人の割合で指導員を配置している。
- ・思考力を高める問題（4～6年）、宿題の支援、独自教材による学習支援という流れで実施している。この流れを確立することで児童が自発的に学ぶ姿勢も育てたいと考えている。
- ・本年度から3年生の教室を実施している。これまで実施してきた成果と課題を検証しつつ、今後の教室の対象学年について検討を進める。

ウ 夏季休業中の学習支援（サマーステップアップ教室） NEW

夏季休業中に夏休みの課題に対する支援、理科自由研究支援等を目的としたサマーステップアップ教室を小・中学生を対象に実施した。理科講座、理科自由研究相談では、ディスカバリーパーク焼津天文館と連携し、講師を派遣していただいた。

(ア)小学生対象のサマーステップアップ教室

- a 日時・会場 焼津公民館 8/8, 9、大井川公民館 7/26, 27
- b 参加人数 小学3～6年生 各会場30人
- c 内容 夏休みの課題の学習支援、理科講座、自由研究相談
- d 参加児童より
 - ・わからなかったところがわかるようになった。
 - ・すぐに教えてくれるのでよかった。
 - ・空気の秘密がたくさん知れてよかった。

(イ)中学生対象のサマーステップアップ教室

- a 日時・会場 大富中学校 8/1, 2
- b 参加人数 2日間で述べ21人
- c 内容 夏休み課題の支援、数学、英語、自由研究相談
- d 参加生徒より
 - ・英語をわかりやすく教えてもらい発見があった。
 - ・理科自由研究の相談ができ、テーマが決まった。

(3) 外国語指導助手配置事業 UP

ア 外国語指導助手（ALT）の派遣

- (ア)第3, 4学年・・・小学校 ALT（小木曾、井澤、野崎、安野）が担当。29年度と同じ学校へ同じ曜日に派遣している。
 - ・年間15時間程度の授業をTTで実施。（A週：3年、B週：4年）
 - ・各校年間10時間分の打合せ時間を確保。

(イ) 第5, 6学年…・業務委託のALT(株式会社インタラック関西東海) 6名を派遣している。

- ・それぞれが分担して小学校を担当し、決まった曜日に決まった学校に勤務し、年間50時間程度のすべての外国語活動授業をTTで行う。

(ウ) 特別支援学級…該当校と相談の上、時数等を決定し小学校ALTを派遣している。

(エ) 中学校…中学校ALTは中学校専任で3名配置している。

(実施状況)

- ・子どもたちが楽しく、意欲的に外国語活動の授業に取り組んでいる。
- ・子どもたちは 外国語活動の授業やALTと会話することなど楽しみにしている。
- ・他学年の活動への参加など各校で工夫してALTを活用している。
- ・給食の時間に食事をとりながら各教室でALTと児童、職員との交流を深めるなどの活用もしている。
- ・放課後、職員がALTと会話等をするにより、職員が英語による会話に親しみ、英語に対する知識理解を深めている。

イ 小学校外国語活動研修会の実施 NEW

各小学校で1回以上、業務委託先ALTトレーナーによる教員対象の「英語ブラッシュアップ研修」を実施する。

- ・ALTトレーナーが学校に出向いて、実践的な研修を実施している。
- ・9月現在12校で実施済み、11月までに全校終了の予定である。

(参加した教員より)

- ・とても楽しくそしてためになる1時間だった。すぐやってみたい。
- ・ゲームを実際にやりながら教えていただき、楽しめた上にわかりやすい。
- ・今までで一番わかりやすかった。他のゲームも教えてほしい。
- ・同じ内容でよいので、また一緒に勉強したい。

※今後も職員対象の英語研修を計画する。